|  |
| --- |
| ４０６１．フリータイム情報登録 |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＦＴＲ | フリータイム情報登録 |

１．業務概要

保税地域、船舶、航海番号単位またはコンテナ番号、Ｂ／Ｌ番号毎にフリータイムを登録する。

（１）保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合（識別区分「Ｓ」）

フリータイム情報を登録する。

登録されたフリータイム情報は、入力日から一定期間経過後システムから削除される。

（２）コンテナ番号単位の登録の場合（識別区分「Ｃ」）

入力されたコンテナ番号毎にフリータイム日付を登録する。

（３）Ｂ／Ｌ番号単位の登録の場合（識別区分「Ｂ」）

入力されたＢ／Ｌ番号毎にフリータイム日付を登録する。

２．入力者

保税蔵置場、船会社、船舶代理店、ＣＹ

３．制限事項

（１）保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合

①基本フリータイム情報の登録は最大２０回とする。

②イレギュラーフリータイム情報の登録は最大２０回とする。

（２）コンテナ番号単位またはＢ／Ｌ番号単位の登録の場合

１業務で入力可能なコンテナ番号またはＢ／Ｌ番号は最大２００件とする。

４．入力条件

（１）入力者チェック

（Ａ）保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合

①入力者が船会社の場合は、入力された船舶コードに対する船舶ＤＢの船舶運航者と同一であること。

②入力者がＣＹで、かつＣＹについて登録する場合は、当該ＣＹの管理者であること。

③入力者が保税蔵置場で、かつ保税蔵置場について登録する場合は、当該保税蔵置場の管理者であること。

（Ｂ）コンテナ番号単位またはＢ／Ｌ番号単位の登録の場合

①入力者が船会社の場合は、積荷目録情報登録で登録された本船利用船会社であること。

②入力者がＣＹまたは保税蔵置場の場合は、コンテナまたは貨物が蔵置されている保税地域の管理者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）船舶ＤＢチェック

保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合は、入力された船舶コードに対する「船舶基本情報登録（ＶＢＸ）」業務または「船舶基本情報等事前登録（ＷＢＸ）」業務がされていること。

（４）コンテナ情報ＤＢチェック

コンテナ番号単位の登録の場合に以下のチェックを行う。

①入力されたコンテナ番号に係るコンテナ情報ＤＢが存在すること。

②輸入コンテナであること。

③保税地域に蔵置されていること。

（５）貨物情報ＤＢチェック

Ｂ／Ｌ番号単位の登録の場合に以下のチェックを行う。

①入力されたＢ／Ｌ番号に係る貨物情報ＤＢが存在すること。

②輸入貨物であること。

③コンテナ詰された貨物でないこと。

④保税地域に蔵置されていること。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）フリータイム情報ＤＢ処理

保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合は以下の処理を行う。

①入力された保税地域コード、船舶コード及び航海番号に対するフリータイム情報ＤＢを作成する。

②入力内容を登録する。なお、既に登録されている場合は、上書きで登録する。

（３）コンテナ情報ＤＢ処理

コンテナ番号単位の登録の場合は、コンテナ情報ＤＢに対してフリータイム日付を登録する。なお、既に登録されている場合は、上書きで登録する。

（４）貨物情報ＤＢ処理

Ｂ／Ｌ番号単位の登録の場合は、貨物情報ＤＢに対して蔵置場所に対するフリータイム日付を登録する。なお、既に登録されている場合は、上書きで登録する。

（５）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（６）注意喚起メッセージ出力処理

コンテナ番号単位またはＢ／Ｌ番号単位の登録の場合は、内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| フリータイム登録情報 | 以下の条件をすべて満たすとき、出力する  （１）入力者が船会社または船舶代理店である  （２）識別区分がコンテナ番号単位またはＢ／Ｌ番号単位である | コンテナ及びＢ／Ｌ番号に係る貨物が蔵置されている保税地域 |
| エラー通知情報  （フリータイム登録） | 識別区分がコンテナ番号単位またはＢ／Ｌ番号単位の場合 | 入力者 |

７．特記事項

本業務でコンテナ番号単位またはＢ／Ｌ番号単位の登録の場合は、多量のコンテナ番号またはＢ／Ｌ番号を処理するため、下述の処理の流れとなる。

①入力受付条件のチェックをした後、処理結果通知の出力処理を行う。

②多量のコンテナや貨物に対して、２０件単位に処理を分割してコンテナ情報ＤＢチェック、貨物情報ＤＢチェック、ＤＢ処理等の内部処理を行う。

③分割された内部処理単位に処理が完了した後、チェックにてエラーとなったコンテナ番号またはＢ／Ｌ番号をエラー通知情報（フリータイム登録）にその旨を出力する。

（エラー通知情報（フリータイム）登録は最大１０件出力される。）